

# 第4回協議会以降の活動状況

---



国土交通省

海外港湾物流プロジェクト協議会事務局  
(港湾局産業港湾課)

※赤字は第4回協議会（2013年7月）以降に開催したものの

WGの開催

現地セミナー等の開催

海外港湾物流プロジェクト協議会

インドネシアWG

2010.11.11第1回開催  
 2011.3.25第2回開催  
 2011.7.29第3回開催  
 2012.8.20第4回開催（ミャンマーと合同）  
 2013.3.1第5回開催

①2013.10.31第6回開催

メコン・ベトナムWG

2011.1.25第1回開催  
 2011.5.26第2回開催  
 2011.9.20第3回開催

インドWG

2011.2.25第1回開催  
 2011.8.10第2回開催

②2013.11.7第3回開催

ミャンマーWG

2012.6.4第1回開催  
 2012.8.20第2回開催（インドネシアと合同）

制度WG

2012.3.15第1回開催

2010.12.2インドネシアにて港湾セミナー開催  
 2011.10.18インドネシア港湾開発講演会開催  
 2012.2.29インドネシアにて合同セミナー開催

2010.3.9ベトナムにて港湾セミナー開催  
 2012.10.31ベトナム港湾開発講演会開催  
 ③2014.2.19カンボジアにてベトナム・カンボジア  
 内陸水運効率化セミナー開催  
 ④2014.3.7ベトナムにてソフトインフラに関する  
 ハイレベルセミナー開催

2011.9.29インドにて港湾セミナー開催

2012.3.15ミャンマー港湾開発講演会開催  
 2012.8.24ミャンマーにて合同セミナー開催  
 2012.11.20ミャンマーWG講演会開催  
 ⑤2014.3.7ミャンマーにて水上物流の促進に関する  
 セミナー開催

## WGの開催

- ・開催日：2013年10月31日
- ・場所：ANAインターコンチネンタルホテル
- ・演題：チラマヤ新港の概要及び開発状況  
ジャカルタ首都圏東部地域にける物流の課題  
インドネシアの輸出入について港湾・物流の課題・対策

### <結果概要>

- インドネシア経済担当調整大臣府のアブデュール・カマルズキ次官補、国家開発企画庁のバスタリ・パンジットPPP局長、運輸省海運総局のモウリッツ・シバラニ港湾浚渫局次長等が来日した機会に、JICAとの共催によりセミナー形式で開催。
- 新港整備やインドネシアの物流に関心を持つ日本企業の関係者等約170人が参加し、インドネシア政府関係者と物流課題の解決に向け、ランチレセプションも活用し、活発な意見交換が行われた。



講演するアブデュール・カマルズキ次官補



WG会場の様子

### WGの開催

- ・開催日：2013年11月7日
- ・場所：駐日インド大使館
- ・演題：インドにおける海事・港湾インフラ  
チェンナイ港・エンノール港と日本企業の連携

#### <結果概要>

- ヴァサン海運大臣来日の先遣隊として来日していたトリヴェディ海運省次官、バスカラチャエンノール港(株)社長より、インドの港湾最新情報について発表していただき、参加した約50名との間で意見交換を行った。

(なお、WG開催後、8日には来日したヴァサン大臣と太田国交大臣との会談、横浜港視察、11日には名古屋港視察が行われた。)



太田大臣とヴァサン大臣の会談



横浜港を視察するヴァサン大臣

## 現地セミナー等の開催

- ・開催日：2014年2月19日
- ・場所：ラッフルズ・ホテル・ル・ロワイヤル（プノンペン）
- ・演題：カンボジア・プノンペン港とベトナム・カイメップ港等をつなぐメコン水運の活用方策<結果概要>

- 2015年のアセアン経済統合に向け、より一層発展が期待されるカンボジアやベトナムの経済発展や日本企業の海外展開を支援するため、プノンペン港と世界の基幹航路を有するベトナム・カイメップ港等をつなぐメコン水運の活用方策について、カンボジア、ベトナム、日本の政府関係者や民間企業から各種発表が行われた。
- 発表後には、主要参加者によるパネルディスカッションが行われ、参加した約130名の方から熱心な質問や意見が出されるなど、活発な意見交換が行われた。

主な出席者：[カンボジア] ترام・イブ・テック公共事業運輸大臣 他  
 [ベトナム] レ・トゥアン・アン運輸省海運総局国際部長 他



記念写真（中央が ترام・イブ・テック公共事業運輸大臣）

セミナー会場の様子

## 現地セミナー等の開催

- ・開催日：2014年3月7日
- ・場所：メリアホテル（ハノイ）
- ・演題：交通インフラ・システム輸出に係る制度・基準、技術・運用システム等のソフトインフラについて

## ＜結果概要＞

■日-ベトナム両国の政府及び民間関係者合計約250名（うち本邦民間企業・団体（56社約100名）が参加、交通運輸分野での日本のソフトインフラ構築の経験を説明し意見交換するとともに、官民一体となってベトナム側関係者等と交流し、ビジネス機会の創出を図った。

主な出席者：[ベトナム] ゲン・ゴック・ドン交通運輸副大臣 他  
[日本] 中原国土交通大臣政務官 他



記念写真（中央が中原政務官、その左側がドン副大臣）



セミナー会場の様子

## 現地セミナー等の開催

- ・開催日：2014年3月7日
- ・場所：パークロイヤル ヤンゴン
- ・主催：（一財）運輸政策研究機構 （本協議会が後援）
- ・講演：[ミャンマー側]内陸水運に係る規制の現状、現状と課題 等  
[日本側]日本及びASEAN諸国における物流業の法令及び基本施策  
日本の内航海運の現状 等

### <結果概要>

- 会議冒頭、ニャン・トゥン・アウン運輸大臣等よりご挨拶いただいた後、ミャンマー政府機関や日本企業等から、ミャンマーにおける内陸水運の現状と課題を中心に、それぞれの立場から、認識や方策についてプレゼンテーションが実施された。
- 質疑応答やセミナー終了後に開催されたランチレセプションを通じ、ミャンマー政府関係者や日本企業等の出席者約140名の間で、活発な意見交換が行われた。

主なミャンマー側出席者：運輸大臣、ハン・セイン運輸副大臣、港湾港社幹部、  
内陸水運公社幹部、ミャンマー国際フォワーダー協会幹部 他



開催挨拶をするニャン・トゥン・アウン運輸大臣



セミナー会場の様子